

議 会 広 報 特 別 委 員 会

|          |                              |                        |
|----------|------------------------------|------------------------|
| 日 時      | 令和 7年 6月27日（金） 閉会中           | 10時45分 開会<br>11時01分 閉会 |
| 場 所      | 相良庁舎 4階 第3会議室                |                        |
| 出席議員     | （委員長） 8番 種茂和男 （副委員長） 3番 絹村智昭 |                        |
|          | 7番 松下定弘                      | 6番 木村正利                |
|          | 2番 谷口恵世                      | 1番 石山和生                |
|          |                              |                        |
| 欠席議員     |                              |                        |
| 法第105条出席 |                              |                        |
| 事務局      | 書記 増田 奈菜子                    |                        |
| 説明員      |                              |                        |

署名 \_\_\_\_\_ 議会広報特別委員長

開会の宣告

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

本当に私の私事で、非常に皆さんにご迷惑をかけまして、本当にこの場を借りまして、おわび申し上げます。では、かけはしの第79号について、進めたいと思います。

---

2 事件 （1） 牧之原市議会だより「かけはし」第79号について

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

ページ構成等、いろいろ事務局のほうでご説明をお願いします。

○事務局書記（増田奈菜子君）

本日なんですけれども、第79号の正式なページ割りを決めていただきたいなと思っております。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

よろしく、いいですかね、そちらで。

○事務局書記（増田奈菜子君）

今回、主に検討していただきたい事項についてなんですけれども、まず、補正予算の記事について、皆様からご意見賜りまして、その集計結果を資料のほうにまとめておりますので、そこから大体二、三件分くらいですかね、記事を選んでいただいた上で、途中でページ構成をしていきたいなと思っております。

次に、特集記事について、一旦すみません、ページ割り（第79号）という資料をご覧ください。

前回から少し変えている点がございまして、もともと討論等があることを考慮して、6月定例会の報告であったりとかの部分をもう1ページ多く取っていたんですが、今回、討論がなかったので、定例会の報告のページ数を1ページ減らしました。その分を、議会報告会と、それから今度7月1日から3日までに行く、文教厚生委員会と総務建設委員会のそれぞれの研修報告をするように、構成を変えてみました。

最後に一番後ろのページ、20ページ目の上段が余ってしまうので、ここの記事を何にするかというのを決めたいと思っているんですけれども、ページ構成の大枠はこちらでよろしいでしょうか。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

今、事務局のほうから報告がありましたけど、そのような内容で進んでいいですか。ページ割り。

谷口委員。

○（谷口恵世君）

補正予算連合審査で、議案第56号のまきペイの質問がたくさん出たと思うんですけど、その後に、当局から説明が資料も添付されてあったと思うので、そこはページが少し余ってしまうということでしたら、少し細かく、まきペイって市民に関わることなので、ちょっと説明を補足というか、載せるなら、スペースが空いているなら、まきペイのことを入

ればいいのかなどと思いますけど。入れ方はどうするのかちょっとあれですけど。

以上です。

○**議会広報特別委員長（種茂和男君）**

今、谷口委員のほうから、そのようなご意見が出ましたけど、そういった方向性で考えますか。

石山委員。

○**（石山和生君）**

今、20ページのところにいるという意味ですか。そういう補足を入れたほうがいいよねということですか。それは全然。

○**（谷口恵世君）**

まきペイのところで質問がたくさん出ているから、そこに回答を載せるとか。

○**議会広報特別委員長（種茂和男君）**

事務局。

○**事務局書記（増田奈菜子君）**

まだ記事を作成しているので、分からないところもあるんですけども、皆様からの総括質疑のほうも、今回すごく多いわけではなかった、通告質疑も多いわけではないので、もしかしたらちょっとページに余裕があったりとか、議案一覧も今回議案が少なかったので、ページのおよそ4分の3くらい。なので、4分の1くらいのスペースが余るので、用語解説だったりとか、まきペイがこんなものだよというのを質問するようなコーナーというのは、つくろうと思えば、詰めればつくれるのかなという雰囲気だと思います。

○**議会広報特別委員長（種茂和男君）**

そういうふうにします。

○**（木村正利君）**

種茂委員長はちょっとおられなかったんですが、この前、担当課のほうで、比較表、紙ベースのものと、要はまきペイのメリット云々という表が出てきたんですね。そういったものを、もし市民の方に知らしめたらというのは、私も同意見ですので、そこら辺の資料をまたちょっとどういうふうにとまとめるか、それはいいことだなというふうに思いますので。

○**議会広報特別委員長（種茂和男君）**

石山委員。

○**（石山和生君）**

この話になったので、関連で言わせてもらおうんですけど、そもそも答弁が、あの資料、要するに間違っていたわけですよ。事務経費は差がないと言っているけど、後の補足資料のほうは、いやいやまきペイのほう安いという結論になっているじゃないですか。だから、これどうやって載せるんだろうなというのは、若干、議論しなきゃいけないよねと。

○**（松下定弘君）**

追加の答えみたいな感じのものを入れたほうがいいのか。間違えていましたと。

○**（石山和生君）**

間違っているものは、さすがに載せられないから。そこら辺をどうやって載せるべきなのか。

○（谷口恵世君）

それとあと、今回の議案に対してというので、まきペイって担当課も違うし。だから、質問自体も、担当課に質問している内容とちょっとずれている。みんながまきペイ自体のメリットはどうかとか、そういうことに行ってしまうているから、そこがちょっと質疑応答の載せ方が。もちろん、今、石山委員が言ったように、答弁も間違っているから、そこも全部おかしいから、どうすればいいかなって。

○（石山和生君）

一回、それはちゃんと話さない。今じゃないかもしれないけど。

○（松下定弘君）

自分もそう思います。選ぶ段階で、本当はこの人ちょっと違うんだけどなというのはあって、でも選ぶとすればこれかなという感じなので。それでいうと、本質じゃないんだよね。そこら辺がうまくできるのかな。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

またお願いをして記事にするに当たっても、ちょっと今の内容は。

○（谷口恵世君）

一応、でも、本会議場でやった質疑を載せて、その下に補足で、こういうふうになって議会でちゃんとやって、そこはなので、当局側の答弁に訂正がありましたというのは、載せたほうがいい。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

石山委員。

○（石山和生君）

間違っただけを出したら、訂正があったとはいえ、分からなくなっちゃうから、そこら辺には触れない、完全に間違っていた情報は触らずに、違う質問もあるじゃないですか。まきペイを利用することでメリットはみたいな。

○（谷口恵世君）

それは、本当は質問事項としては、ずれているから。

○（石山和生君）

だけど、まきペイを使って配布するという議案に対して、まきペイのメリットを聞くというのは別にずれてはないと思いますよ。まきペイの仕組みとかをちゃんと知っている担当が別というだけで、この議案に対して質問を、それをするというのは、別におかしい話ではないと思いますよ。

○（谷口恵世君）

でも、質問内容はそんなにたくさん載せられないので。あと、大石議員が聞いているのは、多分これは、まあいいかなと。聞いている範囲かなと思うので、これは載せて、答弁はまた詳細は後で説明しますみたいな答弁に最後になったと思うので、分からないところ。それを載せておいて。

○（石山和生君）

なので、私も思うのは、例えば、大石議員の、まきペイを使うメリット、まきペイの普及には効果があるだろうが、それ以外にはどんなメリットがあるかとかだったら、恐らく金額の話の修正が入る前の答弁と変わらないんだったら、それを使って、さっき言ってい

た、さらに補足みたいなものは、また別コーナーで、谷口委員が言っていたようにやるのが安パイじゃないかなというふうに思います。

**○議会広報特別委員長（種茂和男君）**

記事にする文章が短いので、厳選してまた審査すればいいと思うし、取りあえず担当を決めるに、この衆2人は恐らく委員会のあれを頼むような形になるんじゃないかなと思うので、今回の一般会計のほうは、議案第48号は絹村副委員長にお願いして、議案第56号の中で、一番票数の2番の3－1－13を木村議員にお願いしたいというふうに思うんですけど、よろしいでしょうか。

**○（木村正利君）**

確認ですが、今ここを私のほうで、議案第56号のところの大石議員のところ、全体のまとめ方は大石議員のほうにしておいて、当たり障りのないところで、もう一点、そこの付け加えるところをちょっと助けて。この前のね。

**○議会広報特別委員長（種茂和男君）**

やった資料のものが、全体ものが来るんだよね。

**○事務局書記（増田奈菜子君）**

そうしたら、記事のほうで、一旦は本会議であった回答で木村委員に記事を書いていただいて、こちらで補足説明で、おっしゃっていただいたというような比較表をまず出しているのかだったりとかというのを確認させていただいて、正しい情報を市として、こういう理由でまきペイを選んだというところが分かるような補足説明みたいなものをつけられたらなと思います。

**○議会広報特別委員長（種茂和男君）**

それと、特記事項で、先ほど事務局のほうからお話がありましたように、委員会の報告等になるのかな、最後の。それでやるような形でよろしいでしょうか。

**○事務局書記（増田奈菜子君）**

一応前回なんですけれども、前は17ページの部分が総務建設委員会で4月に行った市民会議と、エネルギーの視察だったりとか、ないし1ページに2個、視察研修の記事を載せるかという話をしていたんですが、6月定例会の報告の記事を少しスリムにできることが分かったので、もう1ページ増やして、7月1日から行く視察研修の記事を1ページずつ使うという構成にしたところであります。これでよいかどうかを確認したいんですが、よろしいですかね。

**○議会広報特別委員長（種茂和男君）**

写真を掲載してもいいので。写真のほうが効果あるよね、文章よりも。目で見ると。ほか、事務局。

**○事務局書記（増田奈菜子君）**

最後になんですが、20ページの特集記事になります。

まず、表彰に関しては毎回必ず載せるので、ここは外せないです。なので、表彰と、いつもの議会を傍聴してみませんかという記事と含めると、大体A4の半分くらいが埋まって、残り半分くらい空いているスペースがあります。このA4半分のスペースに何を載せるかを検討していただきたくて、今考えているのが、5月に総務建設委員会のほうで行った、県庁に対する要望活動、津波避難施設の要望活動を行ったので、そちらの記事を載

せるか、もしくは今度の日曜日に行く避難訓練に関する記事を載せるか、どちらかかなと考えています。

ただし、避難訓練については、全員で行うとはいえ、昨年、令和6年の11月号の記事のほうでも載せている内容になるので、また同じものをそんなにスパンを空けずに載せるのか、それともやっぱり津波避難施設のほうが、市民の興味あるトピックスではあると思うので、こちらを優先するかをちょっと検討いただきたいと思います。

**○議会広報特別委員長（種茂和男君）**

今、事務局のほうから話があった、私のほうも津波施設のほうが、重複しないなら、こっちのほうがいいのかなと思いますけど、いいですか。

〔「異議なし」と言う者あり〕

**○議会広報特別委員長（種茂和男君）**

それで、事務局のほうはお願いします。

**○事務局書記（増田奈菜子君）**

分かりました。ありがとうございます。

---

**3 その他**

**○議会広報特別委員長（種茂和男君）**

本日のかけはし第79号に関しての打合せ会は以上です。

**○（絹村智昭君）**

事務局にお聞きしたいんですけど、今回の一般質問、結構自分のほうに、委員長のところも来ているかもしれないんですけど、すごいスパンが短か過ぎて大変だという方が来られているので、これは何か理由が。前の一般質問、1週間ぐらいあるじゃんね。

**○事務局書記（増田奈菜子君）**

日程の関係が大きいところになります。まず、神戸総合速記さんから会議録が届くのが、一般質問はおよそ1週間かかります。なので、どうしてもこの時期、昨日とか一昨日とか届いたものを本当に即日送っている形にはなるんですけども、かかる時間が約1週間ぐらいというのが一点。もう一点が、視察研修が7月の頭に入ってしまったことによって、7月のさすがに1日とか2日を締切にしても、研修中に送ることはできないだろうという観点で6月末にしたというのと、もう一点が、前回もお話ししたんですが、8月15日発行の予定なんですけど、お盆休みとこれはかぶってしまって、業者側の都合で、最終的な原稿の締切が8月7日で、いつもよりもちょっとペースが速くなっているというところも挙げられます。

**○議会広報特別委員長（種茂和男君）**

お盆休みは業界はどこも休んで、やるところがなくなってしまうので、早くなる。しょうがないな。印刷業界の慣例なので。

だから、お盆にやっている会社は何もなくなってしまう。

そういうことで、よろしくお願いします。

〔午前 11時01分 閉会〕